南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、今まで協力いただいた先(判明している所のみ):長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ　配布協力避難所:新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場　http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

南相馬市から9月25日日朝　サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。 新鮮な話題をお届け！　2011-09-25 05:23:27

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/7f4e430801848e032feb27dc1c2f4abe

昨日、名古屋からチェリノブイリ救援中部の方達が来られました。

福好再見事務所に食物の放射線検査機を設置することになりました。人も常駐して運営していくことにもなりました。機器はもう発注済ですが納入が来年初めになるそうです。市民の皆さんの身近に食物の線量計があることで、食べ物からの内部被爆を少しでも防げるようになると良いですね。

今週はお彼岸がありましたから、多くの避難している市民の人達が子供と一緒に帰って来ているようです。一時帰宅ではなく、本当に戻って来れると良いのですが。

サイヤで以前働いていた、今30代の主婦(子供が小学生3人)も帰ってきてサイヤにも寄ってくれましたが、埼玉にいるそうです、来年3月まで雇用住宅にいられるようですが、1年延長して2年ぐらいは居ようと思っているとの事です。子供たちは帰って来たいと言っているようですが、放射能の線量がやはり気になるので今はまだ帰るつもりはないようです。旦那さんも今は無職になっていて、どこで働こうか考え中だそうです。

南相馬市から9月26日月朝　2011-09-26 05:20:43

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/8724ae916b6a5a8c34a7583521f819bf

あっという間の9月でした。最終週です。8月お盆が終わったと思っていたら、秋彼岸も終わり涼しくなった来ました。

今週はオーナー会、お惣菜勉強会とあります。ただ台風で車のヘッドライトが壊れてしまっているので、早く直さなくては。

19世紀は科学の時代、20世紀は物理の時代、そして21世紀は生物(バイオ)の時代と言われています。ノーベルからアインシュタインへ

そして21世紀は誰になるのか？

こんなに進歩してきているのになぜに放射能のことを誰もきちんと説明、解決できないのか？不思議です、人間がわからないもの、扱えないものをなぜに使ってしまったのか？少なくとも私たち普通の人間よりは良く知っていた科学者の皆さんには、そうとうな責任があるように思えますが、そういった事を自覚して行動している科学者がどれだけいるのでしょうね。危ないという事は誰にでも言えます。

個人的に今知りたいのは、放射能の値をベクレルからシーベルトに変える方法なのですが、ネットで検索しても良くわかりません。

内部被爆を防がなくてはなりませんが、値の単位？をシーベルトに統一してもらいたいですね。

##

自己本位　・・・　原発の差別構造

負けてらんにぇ！みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-09-26 13:22:21

http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/b0481fe7701258187955ad9d02fbb629

2010. 10　わが庭のふくろう

福島第一原発事故で払った ・ 払う代償は ・・・ はかり知れ

ません。
その教訓として
日本の全ての原発は即刻運転を停止すべきだ･･･と考えます。

「 なぜ この期に及んで まだ動いている原発があるのか 」
･･･ 大変不思議に思います。
原発は
過疎地であろうが
都市であろうが ･･･ 建ててはいけません。

「 自分が住んでいるところに原発がくるのは嫌だけれど
他の場所に作るなら構わない 」
という『自己本位』の考え方では･･･ 原発を廃絶できません。
原発の持つ差別の構造に 一刻も早く気づき ･･･
『ノー 』と言うことでしか 日本の原発を止めることはできない
･･･ と思います。

いまさら「青臭いことを」
･･･ と批判されることを知りつつ 書きました。

「 生 」という字 ･･･ 原発震災避難者のつぶやき

2011-09-27 14:53:32
http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/133da157e34fb9e8529bff70bf642515

2010. 10 わが家の庭で

唐突ですが ･･･
「 生 」という字の由来をひもとけば
「 人は 土より生まれ 土に生かされ 土に還る」にあります。
最初の二画が「 人 」
次の三画が「 土 」を表現し
「 人と土との合成 」から「 生 」をなさしめています。
また「 土 」となれば
「母なる大地を表す一と 芽生えることを表す十 」との合成で
「 大地で芽生え 実(みのる)ところが土 」なわけです。

一般的には人間は
受胎後 十月十日で誕生することになっていて
この十と十とが草冠り(旧字)の原点ともなっています。

まして「 十 」とは
「 天 」なる父と母なる「 大地 」を表わす「 二 」が
十文字に交差されただけのことで
「 二 」自身が
天と地の組み合わせであることが理解できます。
森羅万象の存在は
大なり小なり「 すべて土に縁がある 」からです。
しかし 今 その土は ･･･
欲とエゴが生み出した放射能によって
･･･ 汚れに 汚されてしまいました。

まさに ･･･ 生の危機を感じます。
土を削りとっては ･･･ 除染 除染 除染 ･･･
なにか『 肝心なこと 』が
忘れ去られているように思えてなりません。

##

ふくしま 新発売。

ゆっ太郎 (2011.09.26 11:00)
相双ゆたどさ ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～
http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3866.html

ふくしま新発売。

「ふくしま 新発売。」プロジェクトについて

福島県、福島県内の生産者、民間企業、他サポーターとの新たな体制により、
未来へ向けて動き出している「福島」の姿を伝える活動を開始します。

福島県では、「がんばろう ふくしま！」運動を、県と県民とが一体となり東日本大震災からの復興に向け活動を行っています。しかしながら、ご承知のように福島県産の農林水産物は、東京電力株式会社 福島第一原子力発電所事故による影響で、非常に厳しい状況にあり、今でも県下の農林水産物生産者は大変な打撃を受けています。

このような状況を打開するべく、県として、福島の農産物復興プロジェクト、「ふくしま 新発売。」プロジェクトを新たに立ち上げることといたしました。

このプロジェクトでは、福島県が県産農産物や関連した観光などの最新情報を提供し、新たな未来へ向けて再生し始めている福島の姿を、全国の皆様に伝えていくことを目的としています。

特に福島県と首都圏の人のつながりに立脚し、県内外の皆様とも協調を図り、生産者の「こころ」、や「想い」、「希望」を感じていただける、賛同・参加型の活動を実施していく予定です。

福島県民はもちろん、プロジェクトに関わるメンバー一同、気持ちも新たに、ふくしまの新しいストーリーを発信していく所存です。

2011年8月17日
福 島 県

ふくしまの最新情報をお届けいたします。
ふくしま 新発売。
(URL:http://www.new-fukushima.jp/)

##

緊急時避難準備区域解除に係る復旧計画

南相馬市　東日本大震災関連情報(平成 23 年 9 月 27 日)

http://www.city.minamisoma.lg.jp/shinsai2/jyunbikuikikaizyonikakarufukyuukeikaku.jsp

平成23年3月11日に発生した地震・津波と、その後の東京電力(株)福島第一原子力発電所における放射能事故とにより、半年を過ぎても未だに避難生活を続けられている市民の皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

国は、東京電力(株)福島第一原子力発電所の原子炉施設の安定的な冷却対策が達成できたとして、ステップ1終了における評価をもとに「緊急時避難準備区域」解除の方針を示しました。

解除に当たっては、それぞれの市町村において除染、学校、医療、交通等に関する復旧計画を策定するよう国から求められております。

本市における「緊急時避難準備区域解除に係る復旧計画」では、市民生活を営むため必要不可欠な事業について、年度内を目途に集中的に実施するとともに、国・県に対しても責任を持った対応と支援を強く要望する内容となっております。

今後、これらの実現に向け、積極的に取り組みながら、実施内容を皆様にお伝えし、安心して生活ができるように努めてまいります。

緊急時避難準備区域解除に係る復旧計画(PDF:1.20mb)
http://www.city.minamisoma.lg.jp/mpsdata/web/5220/fukkyuukeikaku.pdf

【問い合わせ】
市長公室　行政改革推進室
〒975-8686
南相馬市原町区本町二丁目 27
南相馬市役所西庁舎 3 階
電話:0244-22-7455　FAX:0244-23-7425
Email:gyoseikaikaku@city.minamisoma.lg.jp

待ちに待ったマイカーでの一時立入り

南相馬市　写真で見る東日本大震災
http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-09/mycar.jsp
【2011 年 9 月 24 日】

警戒区域内への一時立入りが 2 巡目となり、91 世帯 210 人がマイカーなどで自宅に戻りました。中継基地の馬事公苑には受付時間の前から市民が詰め掛け、無線機や線量計を受け取り、マイカーで警戒区域内の自宅に向かいました。

許可された 4 時間の中で前回の一時立入りでは持ち出せなかった思い思いの品を車内いっぱいに積み込んで戻ってきました。

▲マイカーで警戒区域へ

▲警戒区域から戻るマイカー

▲1 台ずつスクリーニング▲持ち出した荷物のスクリーニング

運行開始！仮設住宅巡回無料バス

南相馬市　写真で見る東日本大震災

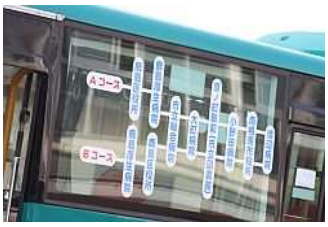
http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-09/junkai-bus.jsp

【2011 年 9 月 26 日】

応急仮設住宅と病院、市役所などを結ぶ「応急仮設住宅巡回バス」の運行が始まり、出発式が行われました。

角川原応急仮設住宅前で行われた出発式ではテープカットが行われ、記念品を贈られた乗客が乗り込み、第1号の出発を祝いました。

バスは乗り降りしやすいノンステップバスで、角川原応急仮設住宅と千倉応急仮設住宅を発着する 2 コースがあり、月・水・金曜日に 1 日 5 便運行します。



▲運行される無料巡回バス　▲車体に張られた運行コース

▲出発を祝ってテープカット▲記念品を手にバスに乗り込む

▲第 1 号の出発を見送る皆さん　▲仮設住宅に到着

##########

9月28日(水)の活動予定

南相馬市生活復興ボランティアセンターのブログ

http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-11030872473.html

今日は、20名のボランティアさんに活動いただきました。
ありがとうございました！

【9月28日(水)の活動予定】

お天気は 晴／曇 降水確率 0%　予想最高気温 20℃

これまで長期にわたるボランティアの皆様のご支援のおかげをもちまして、ガレキ撤去や泥出し等の活動が終息しつつあります。ありがとうございました！

現在は、日々ニーズが変化している状況です。当日の募集人数を満たした場合、締め切らせていただくこともありますのでご了承願います。

≪本部(鹿島区)受付≫
TEL 0244－46－1058
つながりづらい場合は、　0244－46－5354
★現在、一般ニーズはありません

≪支部(原町区)受付≫
TEL 090－2852－6483
★流出物の洗浄　○募集人数:10名
★流出物の展示　○募集人数:15名
★支援物資の仕分け・配布　○募集人数:15名
★避難所運営補助　○募集人数:5名
※活動内容は、変更となることもあります。事前にボラセンに問い合わせいただけると幸いです！
なるべく、午前9時までに受付を済ませてください。

≪今後のニーズ≫
★支援物資の荷下ろし・整理
○日時:9月29日(木)10:00～
○募集人数:10名
※支部(原町区)受付

★仮設住宅への支援物資の袋詰め・配達
○日時:10月6日(木)・13日(木)
○募集人数:両日6名
※支部(原町区)受付

★仮設住宅への支援物資の袋詰め
○日時:10月5日(水)9:30～15:30
○募集人数:5名
※本部(鹿島区)受付